

「地域エネルギー 発電所」を実現

東北おひさま発電は、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーによる電源開発を進めることで「エネルギーの地産地消」の実現を目指そうと、2013年に設立されました。同年8月に県内初となるメガソーラーを稼働させたほか、現在は福島県内を含む計4カ所でメガソーラーを運営しています。

11年の東日本大震災では、エネルギーに対する既成概念が覆され、安全に「絶対」はないことを知りました。効率優先の火力や原子力発電に依存している以上、私たちはエネルギーを一方向的に供給される立場にあります。大資本の都合に振り回されることのない、真に豊かな地域をつくるためには、エネル

代表取締役社長
後藤博信氏



ギーを地域内で自ら生み出し、循環させ、自立していくことが大切です。

太陽光に加え、小水力やバイオガスなど土地の豊かな自然を生かし、多様な発電を組み合わせることで、エネルギーの地産地消は十分に可能です。自立した地域と、子どもたちの未来のために、「地域エネルギー発電所」を実現する。それが社会を変える一里塚になると信じて、地域の皆さんと一緒に、小さな成功の積み重ねに挑戦し続けてまいります。

東北おひさま発電株式会社



おひさまの力を、東北に。

東北おひさま発電株式会社

長井市屋城町7番1号 那須建設株式会社内
TEL0238-84-1123 FAX0238-84-6296
<http://tohoku-ohisama.co.jp/>